

ラウンド農ふくしま

第26号

Fukushima Agricultural Technology Centre

季節の風景
センターの季節ごとの
風景を紹介します。



シクラメンの出荷も間近か
作物園芸部



会津身不知柿の収穫
会津地域研究所



ソバ打ち体験
(農的楽しみセミナー)
企画経営部



飼料用米の給与試験で順調な豚の生育
畜産研究所



オーガニック Expo での県産有機農産物 PR
有機農業推進室

contents

季節の風景	1
センター所長室から	2
研究の紹介	
アスパラガス新品種が誕生しました	2
ナツハゼを利用した餡にはインフルエンザウイルス吸着阻害活性があります	2
営農再開に向けた実証試験(花き生産について)	3
樹園地の除染を剥土機で効率的に行う	3
塩化カリは大豆の放射性セシウム吸収抑制に使用できます	3
お知らせ・トピックス	4

センター所長室から 豊かな地域資源を生かす



所長 小巻克巳

福島県に居を移して6か月と少しが経ちましたが、その豊かな自然に感動しています。浜通り、中通り、会津でそれぞれの地域的特徴を生かした農業が展開され、水稲、畑作物、果樹、野菜、畜産などのどれをとっても全国で上位に入る生産量を上げています。そして、何よりどれもが大変美味しい。私にとっては初めての経験です。東日本大震災による直接、間接の被害だけでなく、TPP問題など取り巻く状況は大変厳しいものがありますが、こんなに素晴らしい農業が乗り越えられないはずがありません。私たちはそのために必要とされる技術を開発することで応えていかなければいけないと考えています。

研究の紹介 研究成果をわかりやすく解説します

アスパラガス新品種が誕生しました



作物園芸部
品種開発科
主任研究員

大竹祐一

農業総合センターではアスパラガスの新品種「福島交10号」を育成しました。

この品種の特徴は、県内の主な栽培品種と比べて春の萌芽（茎の先端が地表に出ること）が早く、収穫本数、収穫量が多いことです。

また、生育が旺盛で栽培管理も容易なことから、県内の主力となる品種として期待されます。



「福島交10号」の収穫若茎

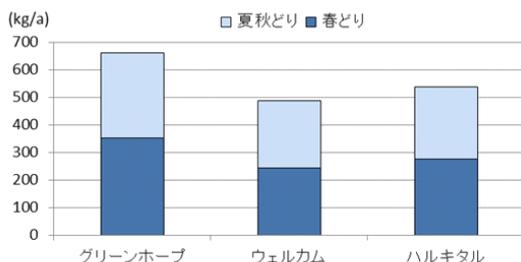


図 露地栽培における規格内累積収量
農業総合センター（2008年～2012年）

問合せは024-958-1721まで

ナツハゼを利用した飴にはインフルエンザウイルス吸着阻害活性があります



生産環境部
流通加工科
主任研究員

関澤春仁

ナツハゼはポリフェノールなどの機能性成分を多く含有することで注目され、加工品への利用も増えています。

今回、ナツハゼの乾燥粉末および果汁を1%含有した飴を試作し、その機能性について調査した結果、インフルエンザウイルスが動物細胞に吸着することを阻害する効果があることを明らかにしました。

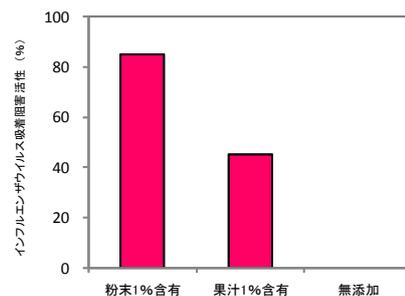
この結果が魅力ある商品開発につながることを期待しています。



ナツハゼ果実



試作した飴



動物細胞にインフルエンザウイルスが吸着する活性を、飴を10倍に希釈した溶液が阻害する割合

問合せは024-958-1719まで

営農再開に向けた実証試験(花き生産について)



生産環境部
福島市駐在
主任研究員

野田正浩

避難指示地域等の現地ほ場で、これまでに得られた試験研究成果の実証栽培を行っています。

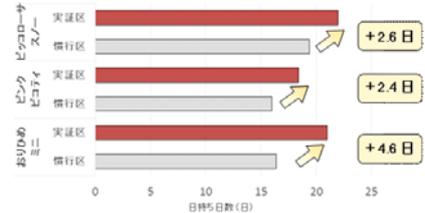
川内村で実施したトルコギキョウ実証栽培では高い品質の切り花が得られるとともに、基肥の窒素量を減らし高温期に遮光することで日持ち日数が2～4日程度長くなりました。

花きでの営農再開を検討したいとの要望も多く、現在、リンドウ、キク、ストック、カンパニュラ等の実証栽培を行っています。

問合せは024-958-1715まで



トルコギキョウの実証栽培



トルコギキョウ切り花の日持ち日数

樹園地の除染を剥土機で効率的に行う



果樹産研究所
栽培科
主任研究員

湯田美菜子

樹園地の表土に沈積した放射性物質を除去するため、果樹の株元でも作業がしやすい「剥土機」を(独)農研機構 生研センターと共同で開発しました。

この機械は歩行型ロータリの後部に排土板を装着した小型のものであり、耕耘しながら表土を5cm程度の厚みで剥土します。排土はバックホーや運搬車により移動します。

剥土機の作業能率は高く、作業後の地表面の放射線量が低下します。

問合せは024-542-4951まで



剥土機による表土剥ぎ作業



剥土を保管場所へ移動

塩化カリは大豆の放射性セシウム吸収抑制に使用できます



作物園芸部
畑作科
主任研究員

竹内恵

塩化カリは硫酸カリより安価な肥料ですが、多量に施用すると根粒菌に悪影響を及ぼし大豆の生育を阻害するとされています。

今回、塩化カリの基肥施用量を通常の10倍にあたる100kg/10aとして大豆を栽培した結果、草丈はやや短くなりましたが、子実の収量は変わらず放射性セシウム濃度は低下しました。

このことから、施用量が100kg/10a※までの範囲であれば、大豆の放射性セシウム吸収抑制に塩化カリを使用できるものと考えられます。

※塩化カリ 100kg 中には 60kg 相当のカリが含まれています。

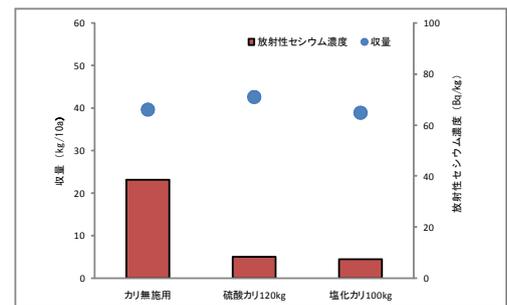
問合せは024-958-1723まで



カリ 硫酸 塩化
無施用 カリ カリ

左
カリ大量施用による大豆
草丈への影響
影響
カリ施用量60kg/10a

下
カリ大量施用による大豆
収量と放射性セシウム濃度



研究の紹介に掲載した情報の詳細については、下記のURLをご覧ください。
福島県農業総合センターホームページ/研究情報/研究成果/平成25年度に得られた研究成果
http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/nougyou-centre/kenkyuseika/kenkyu_seika_H25.html

トピックス

第9回農業総合センターまつり

平成25年度の「農業総合センターまつり」を本部、果樹研究所、畜産研究所の3会場で開催しました。

テーマ

「いいね！がいっぱい

ふくしまの食と農」

畜産研究所では5年ぶりの開催となりました。

ご来場いただきました皆様、ご協力をいただきました方々に御礼申し上げます。

本部会場

9月12日(金)～
13日(土)



農業技術相談



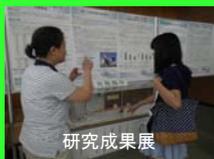
地産地消直売展



ほ場案内バスツアー

畜産研究所会場

8月31日(日)



研究成果展



牛乳バンクで
ランブシェード作り



ミニ動物園

果樹研究所会場

9月5日(金)～
6日(土)



研究成果展



果実直売



果実の試食

農業短期大学校 榊隆祭を開催

10月19日(日)に本校において第26回榊隆祭が開催されました。当日は晴天の中、多くのお客様に足を運んでいただき大盛況のうちを終了することができました。

今年度は「どっこい福島俺達が引っ張る!!」のテーマのもと、学科紹介や各種研究展示、農産物販売や模擬店、後援会バザーなどの内容で開催し、農業の魅力と本校の特色をアピールすることができました。



畜産学科学生によるバター作り体験

お知らせ

農業総合センター農業短期大学校 平成27年度 学生募集



農学部本科一般入校試験(後期募集)、研究科一般入校試験を、右記の日程により実施します。

詳細につきましては、農業短期大学校ホームページをご覧になるか、農学部教務管理(電話0248-42-4113)までお問い合わせください

区分	募集人数	願書受付期間	試験日
本科 一般入校試験 (後期募集)	10名程度	1月6日(火) ～1月26日(月)	2月17日(火)
研究科 一般入校試験	若干名	12月25日(木) ～1月20日(火)	2月3日(火)

ラウンド農ふくしま 第26号

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/nougyou-centre/index.htm>

E-mail:nougyou_jouhou@pref.fukushima.jp

編集・発行 福島県農業総合センター

〒963-0531 福島県郡山市日和田町高倉字下中道116

TEL 024-958-1700 FAX 024-958-1726

広告欄



「元気」発信! 「魅力」発信! JAの農産物直売所。
地域の特徴を活かし、地産地消を推進しています。

朝採り
新鮮野菜が
たくさん!!

生産者から直に
購入できるので

安い!

生産者の顔が
見えるので

安心!

放射性物質検査
を行い
安全を確保!



みんなのよい食プロジェクト



JAグループ福島

<http://www.ja-fc.or.jp>

JAグループ福島

検索